津田体育専門学校

http://www.tsudagakuen.ac.jp/taisen/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-1161

幼児体育科
社会体育科

スポーツ指導者の能力を兼ね備えた幼稚園教諭と、幅広い年齢層に健康づくりの指導を行うスポーツインストラクター・スポーツトレーナーを育成。幼稚園、小学校・中学校、高校、スポーツクラブなど、多彩な教育機関を擁する津田学園の強みを活かした実習重視のカリキュラムにより、就職後に求められるスキルを実践的に身につけます。

津田チャンピオンズカップを開催し、トレーナーブースを提供!

出場者約3,000名の日本最大規模の大会となり、学生が運営するトレーナーブースも大盛況でした。

平成27年4月19日、三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場にて、津田体育専門学校主催の公認競泳大会を開催。国内最大級の参加者数を誇り、日本代表クラスの選手も出場する大会です。本校の学生たちは運営サポートとしてだけでなく、無料マッサージを提供するトレーナーブースも担当。1人10分間で約200名の選手がブースを訪れました。また、この日はプロ実業団のトレーナーや医療機関の鍼灸師など、各界で活躍している卒業生たちも参加し学生たちをサポートしてくれました。

このチャンピオンズカップで日本記録も生まれました!
日本新記録・大会新記録(短水路)　200mメドレーリレー　中京大(川本選手・江戸選手・岸選手・長谷川選手)

津田情報ビジネス専門学校

http://www.tsudagakuen.ac.jp/josen/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-9331

コンピュータビジネス科
国際観光科
医療管理科

津田情報ビジネス専門学校では、少人数クラスによるきめ細かな指導のもと、コンピュータ、医療事務、観光の分野で、即戦力として活躍できる人材を育成します。2年制のコンピュータビジネス科、国際観光科、医療管理科の3学科に加え、1年制の専門研究科も設置し、学生たちの資格取得やスキルアップをサポートしています。

スーパーコンピュータ「京」見学

国内研修で理化学研究所を訪れ、世界1位のスーパーコンピュータを見学。

平成27年5月25日から27日に岡山、兵庫で、10月7日から9日に東京、神奈川、千葉で国内研修を実施。5月の研修では、川崎医科大学病院を訪れ、病院業務や医療課のシステムを見学。また、併設する現代医学教育博物館での人体標本などを通じて医療に携わる者としての知識を広げました。理化学研究所では、スーパーコンピュータ「京」を見学し、世界1位のスーパーコンピュータについて学習。10月の研修では、メディプラザにて電子カルテや医療システム、医療クラークを体験。その他にも研究施設のNTT DOCOMO R&DやTEPIAを訪れ、最先端技術を学びました。

津田学園から多くのみなさんが全国大会に出場しました!

【津田学園高等学校】

〈水泳部〉
■全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
100m自由形　男子1名出場(川口恭矢)
200m自由形　男子1名出場(川口恭矢)
100mバタフライ　男子1名出場(北出幸太)
200mバタフライ　男子1名出場(北出幸太)
400mメドレーリレー　男子団体出場
800mリレー　男子団体出場
800m自由形　女子1名出場(水谷はな)
■国民体育大会
800mリレー 7位入賞　男子1名出場(川口恭矢)
400mメドレーリレー　女子1名出場(川口真佑奈)

〈少林寺拳法部〉
■全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会
男子単独演武　1名出場(水谷亮紀)

〈ゴルフ部〉
■全国高等学校ゴルフ選手権大会
団体の部　男子　3年連続出場
団体の部　女子　2年連続出場
男子　個人の部　3名出場(中山絹也 伊藤遼哉 安達大空)
女子　個人の部　1名出場(藤岡芽以)
■国民体育大会　ゴルフ
少年男子の部　2名出場(中山絹也 伊藤遼哉)
女子の部　2名出場(島田早彩 藤岡芽以)

〈ボウリング部〉
■全日本高校ボウリング選手権大会
【男子】2名出場　準優勝(高木裕太)　4位入賞(加藤勇紀)
【女子】1名出場　準優勝(坂倉凛)
■国民体育大会　ボウリング
男子ペア　準優勝(高木裕太)
女子シングル　4位入賞(坂倉凛)

【津田学園中学校】
■全国中学校新体操選手権大会
女子　1名出場(戸谷百華)
■全国中学生テニス選手権大会
女子ダブルス　出場(伊藤真季 大平菜央)
■U-15全国選抜ジュニア選手権大会(テニス)
女子ダブルス　出場(伊藤真季 大平菜央)

【津田スポーツクラブ】
全国道場少年剣道大会　団体戦出場

【津田スイミングスクール四日市校】
■全国中学校水泳競技大会
100m 平泳ぎ 3位入賞　谷口卓(中学2年)
■全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
100m 平泳ぎ 2位入賞　谷口卓(中学2年)
日本水泳連盟ナショナル選手に選ばれる
50m 平泳ぎ 11～12歳　池田りんか(中学1年) 5位入賞

【津田スイミングスクール桑名校】
■全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
200m 個人メドレー10歳以下　伊藤銀士(小学5年) 7位入賞

進学塾津田学園　TEL:059-321-8221　http://www.tsudagakuen.ac.jp/juku/
本部・笹川スクール　〒510-0944 三重県四日市市笹川1丁目123
大山田スクール　〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12
桑名駅前スクール　〒511-0811 三重県桑名市大字東方266-1

津田スイミングスクール　http://www.tsudagakuen.ac.jp/sports/swim/
大山田校　〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12　TEL:0594-31-1161
桑名校　〒511-0811 三重県桑名市大字東方266-1　TEL:0594-22-2610
四日市校　〒510-0821 三重県四日市市久保田2丁目11-13　TEL:059-355-7771

津田スポーツクラブ　TEL:0594-31-1161　http://www.tsudagakuen.ac.jp/sports/
津田サッカークラブ　津田体操クラブ　津田テニススクール　津田剣道クラブ　津田新体操クラブ　津田バレエクラブ　津田ジュニアゴルフクラブ　津田四日市リトルシニア

躍動

津田学園
広報誌
2015.11 Vol.1

ごあいさつ

津田の夢
津田の信念
津田の友情

平成 20 年 4 月から、本学園の創立者である前理事長津田勉の後任として理事長に就任しました津田浩二です。初めてのご挨拶となる卒業生の方もおられます。どうぞよろしくお願いいたします。

この度、津田学園の歴史を築き、発展に多大の貢献をしていただきました皆さんに、「躍動」する学園の現在の姿を情報としてお届けしたいと考え、学園広報誌「躍動」を創刊することといたしました。

この機会に、ご挨拶かたがた学園の現状や理事長としての考えなどを一言申し上げたいと存じます。

本学園は昭和 47 年 4 月、四日市市笹川の地に幼稚園を開園し、歴史を刻み始めました。そして 44 年目を迎えた今、5つの幼稚園、小学校、中学校・高等学校（6 年制）、高等学校（3 年制）、そして 2 つの専門学校を擁しているほか、スポーツや芸術・文化振興を目的とする各種教室も開講しており、堂々たる総合学園としての姿を整えました。創立時より、学校教育と社会教育の垣根を可能な限り低くすることによって、世代を超えた人々がふれあい、学びあうことができる、生涯教育の場としての「津田学園のまち」づくりを推進し、現在、幼児・児童・生徒・学生、そして各会員合わせて約 6,600 人もの人々が在籍しております。

「津田学園のまち」に集うすべての人が、生涯を通じて夢を追い求め、何が正しく何が大切かを絶えず自身に問い続けながら自らの信念を貫いていく。そして、家族を思いやり、友情を深め、地域や国家を愛する心を育む。創立者である津田勉は、自身の教育に対する理想と情熱を込めた「津田の夢 津田の信念 津田の友情」を建学の精神として掲げ、その実現に邁進してきました。

この創立者の飽くなき情熱は、本学園の大いなる発展に結実しており、我々の心に脈々と受け継がれています。

さて、わが国の教育は今、大きな転換期を迎えております。幼児教育の分野においては、「子ども子育て支援新制度」が平成 27 年 4 月にスタートし、それぞれの幼稚園が重大な決断を迫られています。また現中学 1 年生から対象となる「大学入試制度改革」では、高等学校のみならず、小・中学校においても、グローバル化した社会の中でたくましく生き抜いていく力を養う教育への変革が求められています。

このような激動時こそ学園創立の原点に立ち戻って、創立者の想いを確認しつつ新しい時代に応じた建学の精神の具現化を推進していくことが私の使命であり、私立学校としての存在意義を示すものであると確信しております。

この学び舎から、夢の実現に向かって羽ばたいて行かれた数多くの卒業生の皆さんが、さまざまな分野で活躍され、国や社会の発展に貢献しておられることを大変誇りに思います。また、皆さんの後輩に当たる在園・在校生につきましても明るい話題が多く、将来への期待を大きく膨らませております。

私の目指す学園像は、「生徒・保護者から愛され誇りとなる津田学園、地域の方々から愛され誇りとなる津田学園、教職員に愛され誇りとなる津田学園」であります。その実現のために、本学園発展の原動力となったフロンティア精神の発露を忘れず、常に、より質の高い教育の推進を求め、教職員一同、教育活動に専心していく所存であります。

今後も温かくそして力強いご支援を賜りますようお願い申し上げ、結びといたします。

理事長　津田 浩二

出会いと学びの広場
学校法人 津田学園

津田学園の教育

未来を見据え、躍動する津田学園の教育活動。

本学園はグローバル社会で生き抜く力や大学入試の改革などに向け、新たな取り組みを積極的に取り入れています。そのひとつ、「教育ICT」では協働的な学習を可能にする先進性に富んだ授業により、学力を向上させると共に自主性を伸ばします。そして、「英語教育」では、今後の改革が予想される大学入試に対応した実践的な英語力を身につけながら、国際社会で求められる確かな力を修得。これらの取り組みを創立以来教育の基本としている「道徳教育」と共に実践し、豊かな人間性を持った次世代の社会を牽引するリーダーを育成すべく、本学園は今後もますます躍動して参ります。

■ 教育ICT

平成25年に電子黒板を導入して以来、ICTの力を教育に活用する取り組みは大きく加速しています。現在では、中学校では全教室、小学校・高等学校ともに半数以上の教室に導入しており、その活用度は県内トップクラスと自負しています。今後もさらに導入を進めていきたいと考えています。また、タブレット端末(iPad)も導入し、電子黒板との連動による双方向型の授業を実現しています。「協働的な学習」や「アクティブ・ラーニング」など新しいスタイルの授業も展開しています。

今、教育界は大きな変革の流れの中にあります。従来の学力観だけでは未来を生き抜く力を身につけることができないとされ、これからは「得た知識を活用して課題を解決する力」や、「自ら主体的に学ぶ力」を児童・生徒に習得させることが求められます。それらの力を身につけるのに効果的とされるのが「協働的な学習」です。従来の講義型の授業ではなく、話し合い、教え合い、学び合い、自らが主体的に参加していくスタイルの授業です。そしてこれらの授業を進めるにあたり、効果を発揮するのが電子黒板やタブレット端末といったICT機器です。電子黒板とタブレット端末を連動させることで、誰がどのような考え方や意見を持っているのかを容易に可視化できます。そしてそれらを分類したり比較したり、さらに考えを深めたりと、児童・生徒はどんどん主体的に学ぶようになります。

本学園は、今後もICT機器を活用した新しいスタイルの授業に挑戦し、試行錯誤と研究を重ねながら、未来を生きる児童・生徒にふさわしい教育環境を整えていきたいと考えています。

■ 英語教育

本学園では、魅力に溢れた英語教育を構築するために様々な取り組みを実施しています。小学校では外国人講師による英語教育はもとより、子どものための英語テストJET(Junior English Test)を採用し、楽しく学びながら英語の基礎力を身に付けるカリキュラムを展開。中学校・高等学校(6年制)においては、大学入試改革の目玉である「英語」の変化に対応するために、従来の英語力に加え、特にスピーキングやリスニング、ライティング(自由英作文)の力を身に付けるために多岐にわたる取り組みを実践。外国人講師を迎えながら、NHKラジオ英会話を利用し、スキットコンテストやエッセイコンテストに積極的に参加。また、英字新聞による指導やTOEIC-BridgeやTOEICを実施し、より高いレベルの英語力を修得していきます。他にも、遠足で京都を訪問した際、外国人観光客へ英語によるインタビューを行うグループワークなども実施しました。高等学校(3年制)では、6年制と同様に特別選抜コース、特別進学コースでGTEC-for-studentsを行い、総合進学コースでは、英検の受験を積極的に勧めています。これらの取り組みの結果、この秋にはスピーチコンテストに参加する生徒も出て、さらには、難関大学合格に向けて英語雑誌「TIME」を利用して指導を受けている生徒もいます。今後は、幼稚園(現在はすでに外国人講師による英会話を実施)、さらには津田体育専門学校、津田情報ビジネス専門学校においても、それぞれのニーズに合った英語教育を展開していきたいと考えています。

■ 道徳教育

本学園の道徳教育は、先人に学び、社会に貢献することへの信念を持ち、自己や家族、地域を愛し、自身の進むべき道を切り拓いていく力を身に付けることを目的としています。このような道徳教育を本学園はカリキュラムに取り入れており、例えば、小学校の「道徳」の時間では、偉人やスポーツ選手の素晴らしい生き方に触れられる道徳の教科書を活用。伝記を読むことで、先人の業績や知恵を受け継ぎながら、日々を懸命に生きるきっかけをつくっています。このような道徳を重んじた学びの中で、園児、児童、生徒、学生たちが将来力強く正しい人生を歩み、社会から必要とされる人になるための資質を育成。学園生活を通じて、思いやりの心や礼儀作法、他者や異文化と「対話」できるコミュニケーション能力を習得し、これからの時代を担っていく確かな人間力を養っていきます。

津田学園の幼稚園

こころの豊かな子ども
自分で考え、最後までがんばる子ども
みんなと仲良くできる子ども

TSUDA GAKUEN http://www.tsudagakuen.ac.jp/yochien/

津田第一幼稚園	〒510-0944	三重県四日市市笹川1丁目106-2	TEL:059-321-8836
津田第二幼稚園	〒510-0944	三重県四日市市笹川7丁目52	TEL:059-321-8011
津田三滝幼稚園	〒512-0934	三重県四日市市川島町6513	TEL:059-321-8311
津田桑名幼稚園	〒511-0811	三重県桑名市大字東方266-1	TEL:0594-22-2611
津田大山田幼稚園	〒511-0904	三重県桑名市野田5丁目3-12	TEL:0594-31-8182

幼児期は、豊かな心の根っこを育む大切な時期。私たちは子どもたちとのふれあいの中で、ときには手を差し伸べ、ときにはそばでそっと見守りながら。あせらず、あわてず、ゆっくりと、一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばしていきたいと考えています。

津田学園の5つの幼稚園では、子育て支援活動を展開しています。

キララクラブ(未就園児保育)の2歳児クラス「親子で一緒に学ぶ　コアラコース」「先生や友だちと一緒に遊ぶ　パンダコース」に加えて、平成24年度から、1歳児クラス「ペンギンコース」を設置しました。

1歳児になると、体を自由に動かせるようになり、活発に動き回って遊ぶことを喜びます。ペンギンコースではそんなお子様の成長と子育てママを応援しています。親子でゆったり遊ぶ中、いつも見守られているという安心感から、少しずつママから自然に離れ、好きな遊びに関わりはじめ、一人で歩みだす力を伸ばしています。

津田第一幼稚園

☺月に一度の「わくわくタイム」「なかよしタイム」

友だちとの関わりを広げ、好きな遊びを選択できる時間。幼児が主体的に遊ぶことのできる環境を大切にしています。

太陽の光がふりそそぎ、四季折々の草花が咲き誇る、津田第一幼稚園のアトリウム(中庭)。自然の潤いを全身で感じながら、園児たちはのびのびと遊んでいます。津田第一幼稚園では、月に一度、体を思い切り動かして遊ぶ「わくわくタイム」(動の活動)、室内で集中して遊ぶ「なかよしタイム」(静の活動)を設けています。わくわくタイムでは、リズム体操や様々な体育器具を使ってのアスレチック・玉入れなどの運動遊びを行っています。なかよしタイムでは知育玩具や塗り絵・積み木・楽器などの道具の中から、好きなものを見つけてじっくりと遊びます。平成27年7月8日のなかよしタイムでは、「夏祭り」をテーマに楽器のコーナーでは和太鼓や樽太鼓を使って、楽器遊びを楽しみました。異年齢の園児たちが関わりながら遊ぶ中で、友だちの輪が広がったり、思いやりの気持ちが育ったり、心の成長につながっています。

津田第二幼稚園

☺「東海テレビ すくすくぽん」「名古屋テレビ 踊ろう! ウルフィー!」に出演!

テレビに取り上げられる機会が豊富。子どもたちも番組出演を楽しみにしています。

昨年度、年長組が「東海テレビ　すくすくぽん」の収録に参加。当日は大魔王、キンチャック、ハチャマン、モモコも遊びに来てくれました。ちびっこダンサーの小学生のお姉さんも一緒に踊って楽しみました。平成27年5月21日には年長組が「名古屋テレビ 踊ろう!ウルフィー!」のコーナーに出演。万歩計でウルフィーと競争したり、大好きなウルフィーダンスを踊ったり、元気いっぱいの姿を披露しました。

☺遊具が新しくなりました。

夏期保育の日に全園児が集まりオープニングセレモニーを開催。

津田第二幼稚園の遊具が新しくなりました。全園児が登園日となっている夏期保育の日に、オープニングセレモニーを行いました。紅白のリボンを巻いた新しい遊具の前にみんなで集合し、各学年の代表の子どもたちがハサミで、テープカットを行いました。赤・黄・青のきれいな色の遊具は、真夏の太陽の光を浴びて、子どもたちの歓声と共にキラキラと光ってみえました。凸凹の網のぼりや2台の滑り台などがついた目新しい遊具に、みんな大喜び!今でも大人気の遊具です。

☺父母の会メイクアップ講座

園児のお母さんを対象としたメイクアップ講座を開催しました。

子育て中のお母さんは毎日忙しくて、お化粧をする時間がなかなかとれないもの。でも、子どもたちにとって、お母さんはいつまでもきれいでいてほしいもの。また、お化粧をすることで、気持ちがリフレッシュしたり、ストレス解消にもなり、疲れが吹っ飛んだり、気持ちまで高ぶります。そこで平成27年10月22日、お母さんのためのメイク講座を津田第二幼稚園で開講しました。美しくなるメイク方法を学び、素敵な笑顔があふれていました。

津田三滝幼稚園

津田学園小学校 出前授業

カブト虫の生態について学ぶ授業を実施。
視覚に訴える内容で、子どもたちは興味津々。

平成27年7月14日に津田学園小学校の勝野教頭先生に来園していただき、年長児が小学校の授業を体験しました。カブト虫の幼虫がどのように成虫になるのか、オスとメスの違いなどを、わかりやすく視覚的に説明していただき、子どもたちも興味をもって聞き入っていました。その際にいただいたカブト虫が卵を産み、幼虫となって、今も子どもたちが興味をもって観察しています。

川島地区文化祭

年長組が地域の文化祭に参加し、
元気あふれる踊りを披露しました。

平成25年度より、川島地区文化祭にて、年長児が踊りを披露しています。広々とした体育館の中、たくさんの方々を前にして、子どもたちは気合十分。よさこいやソーラン節を元気よく踊り、地域の方々に喜んでいただいています。子どもたちも発表することを楽しんでいる様子。踊り終わった後には、達成感あふれる表情をしています。今後も地域のイベントに積極的に参加し、子どもたちの心の成長を応援します。

津田桑名幼稚園

後期始業式

プールの中で後期の始業式を開催。
学年ごとに水遊びや水中競技を楽しみました。

平成27年10月14日、後期始業式を併設のプールの中で行いました。全園児がプールに入水し、園長先生の話を聞いた後、年少児・満3歳児はプールの中をアスレチック、年中児はクラス対抗でボール遊び、年長児は水中鼓隊をしました。水中鼓隊では、太鼓の代わりにペットボトル、ポンポンの代わりに水泳で使うヘルパー、旗の代わりにメガフォンを使って、陸上とは違い水しぶきをあげ、鼓隊を楽しみました。

園庭・保育室が新しくなりました。

ますます充実した施設が
子どもたちの成長を見守ります。

新しく園庭ができました。子どもたちは新しくできた園庭で思いっきり遊ぶことができるようになりました。そして昨年、秋には保育室を2部屋増設しました。体操室として使っていたスペースを改築して、きれいな保育室になりました。

津田大山田幼稚園

同窓会が行われました

卒園児たちが久しぶりに集合。
みんなで楽しい時間を過ごしました。

平成27年7月28日、津田大山田幼稚園で同窓会が行われました。同窓会の目玉は、津田学園中学校の職員によるアンモニアの噴水実験です。驚きや発見の連続で、卒園児も大満足だったようです。他にドッジボール大会やペットボトルのふたでコマづくり、運動の部屋では鉄棒の逆上がりに挑戦したり、幼稚園で歌った歌を思い出して楽しく歌ったりしました。久しぶりに会う友だちとともにタイムスリップしたような一時を過ごしました。

夏祭り

幼稚園と父母の会との協賛で夏まつりを開催しました。

毎年恒例の夏まつり。今年は7月5日に行いました。みんなハッピに身をつつみ軽快におみこしをかついだり、和太鼓の音に合わせて踊りました。家族と一緒にいろいろな催しに参加したり、お祭りに欠かせない屋台でかき氷や焼きそばなどを食べ大満足です。子どもたちも笑顔いっぱいの一日でした。

園舎増築

保育室とトイレが新しく増え、より快適で過ごしやすい空間に。

平成27年8月31日、津田大山田幼稚園の増築工事が終了し、保育室が2部屋とトイレが新しく増えました。保育室は4歳児用と3歳児用です。トイレは乾式で、かわいくて、使いやすくなりました。

TOPICS

キララクラブ（未就園児保育）体験日

津田第一幼稚園	2歳児：1月16日(土)	1歳児：2月20日(土)
津田第二幼稚園	2歳児：1月23日(土)	1歳児：2月20日(土)
津田三滝幼稚園	2歳児：12月7日(月)、1月25日(月)	1歳児：2月20日(土)
津田桑名幼稚園	2歳児：2月13日(土)	
津田大山田幼稚園	2歳児：2月6日(土)、2月20日(土)、3月5日(土)	

いちごクラブ

就園前のお子さまを対象に、親子で楽しく遊んでいただきます。
同時にお母さんの出会いや交流の場でもあります。
各幼稚園で毎月1回行っています。

※キララクラブ、いちごクラブの申し込み方法・内容は、各幼稚園にお問い合わせください。

津田学園小学校

http://www.tsudagakuen.ac.jp/shougaku/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-9311

津田学園小学校は平成16年の開校以来、「確かな学力」、「探求心の追究」、「道徳心の育成」を掲げながら全人教育を実践しています。

「頭のいい賢い子ども」、これは津田学園小学校が目指す児童像です。測定できる学力は全人教育の中では氷山の一角で、学習意欲や高い道徳性、豊かな人間性を持った子どもに育てるよう学習時間の確保、体験学習の充実、多彩な行事を行っています。
梅干しづくり等の実体験を伴った学習へ取り組む児童は、味覚や触覚などをフル活用し学びを深めています。学校前に流れる嘉例川の調査では、生き物の採取や水質の調査に始まり、ESD（持続可能な開発のための教育）につなげ学習しています。能やバレエなど文化庁による本物の文化芸術に触れる貴重な機会も、学校行事の中で実施しています。
人格の基礎をつくるこの時期に、様々な体験を通じて本質的な学力を高める教育を行っています。

汐の学校

塩づくりや魚介類の採集を通し、「海の恵み」や「海と人との関わり」を学習。
海の生き物に興味や関心を抱かせ、自然科学の基礎学力や関心を培います。

汐の学校は3年生以上の希望者を対象に、隔年で実施している宿泊体験学習です。三重県南勢地域を会場に、2泊3日で様々な体験学習を実施します。今年は7月29日（水）～31日（金）に実施しました。29日は養殖伊勢マグロ餌やり体験からはじまり、釣った魚の処理から、魚の調理体験までを行いました。30日は海水からの塩づくり体験、船釣り体験、鳥羽水族館を見学しました。31日は海の博物館見学、磯での様々な生き物の観察や採集などを行いました。3日間を通して、「海の恵み」や「海と人との関わり」について深く学びました。

梅干しの土用干し

梅の採集から漬け込みまで自ら行い、
つくる喜びや食のありがたさを感じる食農教育。

6月に校内で収穫した梅の実を漬け込み、8月の土用干しまでを児童が自らの手で行う体験学習を実施しています。梅酢はしょうが漬けに使用したり、しそは乾燥させて、ゆかりにしたりとあますところなく利用し、無駄にしない日本人の食と農の文化も学んでいます。本年もたくさんの梅干しができあがりました。本校ではこのような実体験を重視した学習を多く取り入れています。

運動会

最後までやり遂げる力、仲間と協力すること、
行事での深い感動は道徳心の育成につながります。

平成27年9月26日、さわやかな秋晴れのもと、運動会を実施。徒競走や綱引き、親子競技などさまざまな競技が行われました。体育演技では、1・2年生がトピナワを使い、リズムダンスを披露しました。3・4年生は南中ソーラン節を力強く演技しました。5・6年生は運動会の花形、組体操にチャレンジし、高学年らしく凛とした姿を見せてくれました。また、多くの保護者の皆さまや卒業生の皆さまも参加していただきました。

親子ふれあい教室ーバレエ公演

本物の文化芸術に触れる貴重な機会。
多くの感動を経験し、豊かな心が育まれます。

文化庁「文化芸術による子供の育成事業」に本校が選出され、昨年度は法村友井バレエ団によるバレエ公演が開催されました。公演は「バレエを知って楽しもう」、「くるみ割り人形」、「騎兵隊の休息」の3部構成。本物の芸術に触れる貴重な機会でした。過去にはウィーンフィルハーモニー管弦楽団メンバーやテレマン室内管弦楽団を招いたコンサート、山本能楽堂による能公演、現代美術の祭典「あいちトリエンナーレ」の鑑賞などを実施しました。今年度は、1月26日に大槻能楽堂をお招きします。

ESD（持続可能な開発のための教育）の取り組み

嘉例川での水質・生物調査の結果を
児童たちが発表しました。

ESDとはEducation for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略で、自己を取り巻く環境の課題と身近な暮らしを関連付け、新たな価値観や行動を生みだすことを目指す学習や活動です。本校では平成18年より「水辺の環境教育」と題して、嘉例川での水質と生物調査や、児童が結果を発表する公開授業を行っています。それを学習の始点とし、ESDにつなげ学習を深めています。

TOPICS

プレテスト

平成27年11月28日(土)

※プレテストは本校の実際の入試問題に近い内容で行っており、入学試験の前に受けることで試験に慣れ、子どもの受験への負担を軽減する目的で実施しています。

入学願書受付日

平成27年12月7日(月)～12日(土)および
12月14日(月)～19日(土)9:00～17:00　土曜日は9:00～12:00

入学試験

集団考査：平成28年1月9日(土)
親子面接：平成27年12月23日(水)または26日(土)

津田学園中学校・高等学校(6年制)

http://www.tsudagakuen.ac.jp/chugaku/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-6311

平成22年4月、さらなる飛躍を期して教育内容のすべてを改善。それ以来、着実に成長を遂げてきました。

5年前、新たなスタートをきった津田学園中学校に入学した生徒たちも今や6年生(高校3年生)になりました。5年間で高校課程までを修了するカリキュラムにより、この4月からの授業においては各教科の演習をより多くこなしながら、最終学年としてさらに充実度を増した早朝・放課後の課外授業にも取り組み全国模試の成績も向上し、全員が国公立大学・難関私立大学合格を目指して邁進しているところです。また、2020年の大学入試改革においては、従来の知識偏重から、思考力・判断力・表現力が要求される活用型学力重視への変革がなされようとしていますが、そのような学力育成の取り組みの一環として2年前より普通教室に固定式電子黒板を導入し始めました。これにより、画像や音声、動画を利用したインタラクティブな授業を可能とし、生徒の学習意欲をより引き出すことができるようになりました。そして本年度からは全普通教室で固定式電子黒板が設置され、タブレット端末をも活用した双方向的授業展開による協働性・コミュニケーション能力養成の面でも大きな成果を挙げています。さらに、英語教育においては4技能(読む・書く・聞く・話す)を伸ばす取り組みを実施。その他、hyper QUの導入やサイエンスクラブの活動など、学校生活の充実度を高め感性を育むプログラムも充実しています。

英語教育の充実

大学入試改革や社会のグローバル化に備え、効率的かつ実践的な英語教育を実施しています。

来るべき大学入試改革にしっかりと対応できるよう、「NHK 基礎英語」の年間購読、GTEC for students(年1回受験)、TOEIC Bridge(年1回受験)、TOEIC(年1回受験)など、英語力を高めるプログラムを実践しております。さらに、加速するグローバル化に備え、「実践力をつける」試みとして、伊勢神宮や京都市内など、外国人が数多く集まる場所を訪れ、見学グループに分かれて自分たちが聞きたいことを外国人観光客に英語でインタビューすることにチャレンジしました。こういった体験を通し、コミュニケーションの楽しさや積極性の大切さを実感することができたようです。

「hyper QU」の導入

社会性を向上させるトレーニングを実施。

生徒の学力向上につなげるため1～6年生を対象に「hyper QU」を導入しました。4月から定期的に早稲田大学大学院教育学研究科の水谷明宏先生に来校していただき、教員研修会を実施。9月には生徒もソーシャルスキルトレーニングを通じて、他者との関わりや配慮のスキルを学ぶとともに、居心地の良いクラスづくりと学力向上に向けた取り組みを指導していただきました。

サイエンスクラブの活動

理科実験のおもしろさをリアルに体験。

昨年7月から毎週月曜日、株式会社フローラ様の協力で、サイエンス部が活動しています。博士号を持つ研究員を月に1回招き、様々な実験や研究のアドバイスをいただいております。今年も代表的なものとしては「人工イクラの作製」、「葉のDNA抽出と観察」、「硬化性樹脂の作製」、「酵母菌・乳酸菌の作製と観察」などを行いました。生徒たちは毎回意欲的に参加し、理科実験のおもしろさ、奥深さを体験しています。

森の学校

自然とふれあい、自分と向き合う3日間。

平成27年7月30日から8月1日の3日間、2年生は「森の学校」へ出かけました。舞台は、岐阜県、長野県にまたがる乗鞍高原にある「乗鞍青少年交流の家」。生徒たちは自分でテントを張り、朝まで一人で過ごします。また、快晴の天気に恵まれ、上高地の大自然を探索しました。自然の素晴らしさや厳しさにふれ、大きく成長しました。

環境を考える旅

教科書だけではわからない、大切なものを学ぶ旅へ。

平成27年5月13日から16日にかけて、3泊4日の自然体験プログラム「環境を考える旅(沖縄県)」を実施し、中学3年生が参加。沖縄の名所旧跡を訪ねたり、サンゴ礁のある海や環境保全に取り組んでいる施設を見学したり、盛りだくさんの内容で、自然の大切さや沖縄の歴史を学びました。

TOPICS

入学試験

専願A方式	一般B方式
平成28年1月6日(水)	平成28年1月9日(土)
筆記試験(各45分)	筆記試験(各45分)
1:国語 2:算数 3:社会 4:理科	1:国語 2:算数 3:社会 4:理科
面接(本人)	

小中連携講座

平成27年8月26～28日、津田学園小学校6年生の皆さんが津田学園中学校の授業体験をする連携講座を行いました。実施講座は、国語、数学、理科の3科目。本校の1～3年生もそれぞれの講座に分かれて参加し、先輩として積極的にアドバイスを送っていました。11月には、社会(桑名市内歴史探訪)の連携講座が予定されています。

津田学園高等学校(3年制)

http://www.tsudagakuen.ac.jp/koukou/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-6311

平成26年4月に設置コースを「特別選抜」、「特別進学」、「総合進学」の3コースに改編し、新たな一歩を踏み出しました。

改編した特別選抜コース・特別進学コースでは、第1・3土曜日にも授業を実施し、午後には予備校講師による「特別講座」を行っています。他にも、入学時の「宿泊研修」や夏季休暇中の「勉強合宿」なども用意。その結果、特別選抜コース1期生には模試での偏差値80を超える生徒も在籍しており、卒業を迎える来年度には、「東京大学合格」、「国公立大学合格20名以上」を目標に教員一丸となって教育を行っています。総合進学コースでは、充実したキャリア教育を行い、「インターンシップ」や資格取得に向けた授業など、斬新な試みを導入しています。また、本校は部活動でも結果を出しており、ボウリング部は2年連続日本一を達成し、水泳部、ゴルフ部は全国大会の常連校となっています。さらに、今年は野球部から2人目のプロ野球選手を輩出することもできました。この「新たな一歩」を「確かな一歩」にするために、今後も津田学園高等学校は進化していきます。

特選・特進コースの取り組み

多彩なプログラムで希望の進路実現を目指します。

「特別選抜コース」、「特別進学コース」の新入生を対象に、平成27年4月18～19日の1泊2日で三重県立鈴鹿青少年センターにて宿泊研修を実施しました。大学進学に向けた卒業生からの講話や高校での学習方法について教科別のガイダンスなどを実施。進路実現に向け、授業に対する心構えを身につけることができました。また、夏期休暇中には、全学年を対象に、2泊3日で湯の山温泉グリーンホテルで勉強合宿を行いました。「進学を目指す上での学力・精神力の向上」、「基本的学習習慣の確立」、「進路実現に向けた受験対応の学力向上」を目的に、3日間にわたり実施。今年も、起床から就寝まで学習に取り組み、3年生においては面接の練習も導入するなど、充実したプログラムのもと実施しました。

インターンシップ

地域で学び、自分を磨いた3日間。

今年度より「総合進学コース」(2年生)の生徒がインターンシップ(就業体験)を行いました。7月13～15日の3日間、幼稚園や保育園、スーパーや介護施設、製造業などの近隣の事業所でお世話になりました。担当者の方々に教えられながら、一生懸命に実習に取り組む姿が見られました。生徒の実習簿からは、「日頃の授業では経験できない貴重な時間を過ごすことができた」などの感想が多く、貴重な機会となりました。

ICT機器を取り入れた授業

アクティブ・ラーニングの実践に向け電子黒板を導入。

平成27年4月より「特別選抜コース」、「特別進学コース」の全教室に電子黒板を設置しました。画像や動画が簡単に表示できることで、生徒たちの授業への関心度が高まっています。また、タブレットも導入し、調べ学習や、グループディスカッションなどのアクティブ・ラーニングを実践しています。

特別講座

予備校講師による特別講座を開講しています。

昨年度より第1・3土曜日の午後は、現役の予備校の講師による特別講座を行っています。昨年度までは国語・英語の2教科の開講でしたが、今年度は国語・数学・英語の3講座が開講されており、国公立大学や難関私立大学の現役合格を目指し、センター試験や国公立大学入試の問題を解くための多彩な受験テクニックを学びます。

本校野球部3年生 出口匠選手 東北楽天ゴールデンイーグルスより育成1位指名!

本校2人目のプロ野球選手を輩出しました。今後の活躍を期待しています。

平成27年10月22日に開催された「プロ野球ドラフト会議」において、本校野球部3年の出口匠選手(内野手・正和中学校出身)が、東北楽天ゴールデンイーグルスより育成1位指名を受けました。出口選手は小学校から野球を始め、本校に入学後も持ち前のバッティングで1年生からレギュラーとして活躍。体格を生かした思い切りの良いスイングで、高校通算41本塁打を放ち、不動の4番として活躍しました。また、ピッチャーとしても140キロ超をマークする速球を売りにしています。今年の夏の県大会では、強豪菰野高校を破ってのベスト8に貢献。県大会終了後もプロ野球選手を目指して練習を続け、この日の吉報を待っていました。出口選手は、「ほっとした」と語り、「とにかくバットを振ること。育成枠でも負けずに頑張りたい」と力強く語っています。

TOPICS

推薦入試

	試験日	
学校推薦	1月23日(土)	小論文、面接
特待奨学生選抜	1月23日(土)	1:国語 2:数学 3:社会 4:英語 5:理科、面接
自己選択選抜	1月24日(日)	1:国語 2:数学 3:英語、面接
一般入試	1月31日(日)	1:国語 2:数学 3:社会 4:英語 5:理科

国立大学合格実績(平成27年度入試)

■三重大学	教育学部	■島根県立大学	総合政策学部
	人文学部(2名)	■奈良県立大学	地域創造学部
■静岡大学	人文社会学部	■尾道市立大学	経営情報学部
■富山大学	工学部	■防衛大学校	理工学専攻(3名)
■北見工業大学	工学部(2名)		人文・社会学専攻